

交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）メールマガジン



第5号（2012.10.22）

発行：交通環境学習メールマガジン事務局

（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）



■目次

1. 交通環境学習に関する寄稿	1
(1) 「学びの場としての公共交通」	
【筑波大学大学院システム情報工学研究科講師 谷口 綾子】	1
(2) 「MM教育は絶対に効いてくる」	
【川西市都市整備部まちづくり推進室都市政策課 中津留 幸紀】	2
2. ニュース／トピック	3
3. 取組み／イベント情報等	6
4. その他	8

1. 交通環境学習に関する寄稿

(1) 「学びの場としての公共交通」

【筑波大学大学院システム情報工学研究科講師 谷口 綾子】

近頃、バスや電車の中で床に座り込む高校生や、臆面無く化粧をする女性が話題となっています。本人達の言い分は、「誰にも迷惑をかけていないから問題ない」ということのようにです。確かに、誰かに危害を加えているわけでも、騒音を出しているわけでもありません。しかし、このような行為に違和感を覚えるのは筆者だけではないでしょう。実際、新聞の投書欄に苦言が呈され、バス・鉄道事業者への苦情でも上位に挙がっているようです。このことは、自分の家などのプライベートな空間と、皆で使う公共空間の区別が徐々に曖昧になってきていることに起因しているように思われます。

このような傾向を促進したものの一つとして「マイカー移動の増加」がありそうです。マイカーの車内はプライベートな空間ですので、大声で歌をうたっても、お化粧をしても、騒いでも、だらしなく座っても、特に大きな問題とはなりません。一方、バスや電車などの公共交通では、他の乗客に不快な思いをさせぬよう一定の配慮が不可欠です。もちろん子どもも例外ではありません。

人間は社会的動物であり、一人では生きていけません。ヒトは、公共空間において「世間（社会）」に触れ、そこでの振る舞いを学ぶことで社会的動物になるのです。幼少時からマイカーで移動し、移動中もプライベートな振る舞いに慣れた子ども達が大人になったとき、「公共空間」でも同様に振る舞ってしまうのかもしれませんが。プライベートな空間と公共空間のちがいを知り、「世間」を知るための学びの場の一つが、電車やバスなど、公共交通機関の車内なのではないでしょうか。

モビリティ・マネジメント教育は、バス・電車という公共空間での振る舞いを学ぶことができる貴重な場でもあるのです。

※本寄稿は、下記URLからファイルとしてダウンロードしていただけます。

http://www.mm-education.jp/magazine/MMedu_mailmaga5-1.pdf

(2) 「MM教育は絶対に効いてくる」

【川西市都市整備部まちづくり推進室都市政策課 中津留 幸紀】

川西市内でのMMは、平成14年からパイロット的に実施されました。その後、平成18年からは、大阪大学大学院松村暢彦先生の総合プロデュースにより「相手の気持ちになって自分はどのようなことができるか」「次世代を担う子供たちに、まちづくりについてしっかり考えてほしい」という思いで、大学・公共交通事業者・兵庫県等が連携し、各学年に応じたMM教育に取り組んでおります。

平成21年までのMM教育は、数か月間実施し、子供たちの成果は、地域の方々をお迎えして発表会を行い、成果を駅構内・バス車内・商店等にも掲示し、地域に発信ができました。そして卒業時には、松村先生からメッセージが贈られ、子供たちや保護者のこころに残るMM教育で巣立っていかれました。

一方、能勢電鉄（株）、阪急バス（株）の協力で実践しておりますMM教育は、公共交通と共に発展した川西市に住む子供たちに、より一層環境意識や公共心を高め、公共交通の利用促進にも繋がっております。

しかし、ゆとり教育が見直され、長期的にもMM教育が実践できる環境に変化が現れてきました。そこで、平成22年からは、教職員研修で、MM教育に取り組みました。この研修によって学校で実施できたMM教育の回数は、平成22年4回・平成23年8回・平成24年8回と芽生え、アンケートでも87%の教諭から「MM教育を実施したい」と高い評価を得ております。

現在、小学校の教科書には、フードマイレージ等が掲載されており、MM教育はさらに広がる可能性を秘めていると思われます。また、保護者及び地域に対しても、環境・交通・地域活性化・まちづくり等の「気づき」の発信になると思います。

今後も松村先生のご協力により、夢の実現のために「MM教育は絶対に効いてくる」と念じながら公僕として、こころに残る持続可能なMM教育を実践していきたいと考えております。

※本寄稿は、下記URLからファイルとしてダウンロードしていただけます。

http://www.mm-education.jp/magazine/MMedu_mailmaga5-2.pdf

2. ニュース／トピック（取組みの実施結果や開催報告等）

【交通環境学習関連の取組み】

- 本通小学校3年生を対象に社会科「もっと知りたいみんなのまち」の単元において、徒歩や自家用車との比較を通して公共交通機関の利点やその役割について学ぶ授業を開催（北海道札幌市）

<http://www.city.sapporo.jp/sogokotsu/riyousokushin/schoolmm.html>

- 小学校5年生を対象に実施しているTDM教育「かしこいクルマの使い方」について、今年度実施する4校の教諭を中心に、TDM教育の意義や実際の授業の進行方法などについて、模擬授業形式の研修（TDM教育研修会）を実施（神奈川県秦野市）

https://www.city.hadano.kanagawa.jp/koho/shise/koho/mahoroba/h24/0730_0802.html

- 旭小学校3年生約90人を対象に橋本地区TDM推進事業の一環として路線バスの乗り方や安全な利用方法等に関する体験教室を実施（神奈川県相模原市）

http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/dbps_data/_material/_localhost/matizukuri-keikaku/611500/pdf/shou_mm_gaiyou.pdf

・配布資料

http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/dbps_data/_material/_localhost/matizukuri-keikaku/611500/pdf/shou_mm_haifu.pdf

・アンケート結果

http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/dbps_data/_material/_localhost/matizukuri-keikaku/611500/pdf/shou_mm_an.pdf

- 小学校5～6年生と保護者62人を対象に「交通すごろく」等により親子で交通と環境問題について学ぶ「交通環境学習」を開催（大阪府豊中市）

<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/press/files/1346738537.pdf>

- 室蘭市内の3小学校5年生136人を対象に「カードゲーム 暮らしの中での地球温暖化対策を考える」、「ハイブリッドバス実車説明」などを行う「交通エコロジー教室」を開催（北海道室蘭市）

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/press/presspdf/H24/2408/240824kankyoku02.pdf>

- 松園小学校4年生55人を対象に交通と環境の関係を考える機会を提供する「バスの乗り方教室」を開催（岩手県盛岡市）
<http://wwwtb.mlit.go.jp/tohoku/puresu/kk120925.pdf>
 ・実施結果
<http://wwwtb.mlit.go.jp/tohoku/kk/kk-ecoclass/kk-ecoclass-2012-morioka.pdf>

- 富谷小学校2年生81人を対象に「環境と交通の関係」を考えてもらい、実際に路線バス車両を使用して、乗り方や利用のマナーを覚えてもらう「バスの乗り方教室」を開催（宮城県富谷町）
<http://wwwtb.mlit.go.jp/tohoku/kk/kk-ecoclass/kk-ecoclass-2012-tomiya.pdf>

- 鴨志田第一小学校5年生45人を対象に電気自動車やハイブリッド自動車に体験乗車して環境を考える「交通エコロジー教室」を開催（神奈川県横浜市）
http://wwwtb.mlit.go.jp/kanto/press/date/1210/te_p121001.pdf

- 綿内小学校2年生および4年生174人を対象にバスの乗車体験を通して、公共交通の大切さを理解し高齢者や障がい者等への思いやりの心を育てることを目的に「バスの乗り方教室」を開催（長野県長野市）
<http://wwwtb.mlit.go.jp/hokushin/press/1210-1212/121005-1.pdf>

- 津田小学校5年生を対象にバスへの理解と関心を高め、バス利用の促進を考える一つの機会とするための「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催（香川県さぬき市）
<http://wwwtb.mlit.go.jp/shikoku/newsrelease/2012/2012-0905-1122.pdf>

- 愛媛大学教育学部附属小学校1・2年生約210人を対象に公共交通機関としてのCSR活動の一環として出前授業「電車・バスの乗り方とマナー教室」を実施（愛媛県松山市）
www.iyotetsu.co.jp/topics/12/manner_school02.html

- 富士市内の園児および小学校1～6年生とその保護者60組程度を対象にバスや電車を上手に利用してチェックポイントやクイズポイントをめぐり得点を競うゲーム感覚の公共交通体験イベント「親子1DayTripチャレンジャー」を開催（静岡県富士市）
<http://www.city.fuji.shizuoka.jp/hp/page000033700/hpg000033637.htm>

- 小学生をメインターゲットとしてバスの乗車方法、安全や環境への取り組み、バスで行ける福岡のおすすめ観光スポットなどを紹介するガイドブック「それゆけ！バスキッズにつバスたんけん隊」を発行（福岡県福岡市）
www.nishitetsu.co.jp/release/2012/12_084.pdf

- 小学生以下の子どもを含む家族600人を対象に路線バス利用促進の一環として、家族で楽しみながらワンコインパス(宮崎市内1日フリー乗車券)を利用し沿線の地域について理解を深めてもらう乗車体験イベント(スタンプラリー)を開催(宮崎県宮崎市)
<http://www.miyakoh.co.jp/news/download/2012-09-21.pdf>
- バスの試乗会、こども運転体験、バスの乗り方教室など様々なイベントを行う「ひろしまバスまつり」を開催(広島県広島市)
<http://www.bus-matsuri.com/index.html>
- おもしろバスの展示、バスの乗り方教室など様々なイベントを行う「バスの日まつり」を開催(岩手県盛岡市)
<http://www.iwatebus.or.jp/busday12.html>
- バスの展示、バス絵画コンクール作品展示など様々なイベントを行う「秋田バスまつり」を開催(秋田県秋田市)
http://www.akitafan.com/events/detail.html?event_id=8539
・実施の様子 <http://www.oodate.or.jp/shuhoku/bus/html/bus/event/H24busfes.html>
- バス無料試乗会や運転席体験など様々なイベントを行う「佐賀駅バスセンターまつり」を開催(佐賀県佐賀市)
http://www.bus.saga.saga.jp/info/2012/08/_92_1.html

3. 取組み／イベント情報等（継続中もしくは今後の取組みやイベントの開催情報等）

【バス乗車体験やキャンペーン等に関する情報】

●地域公共交通チャレンジ支援事業（宮崎県）

特定日は子ども料金を無料にする等の取組みや、公共交通の普及・啓発にかかわるイベントや情報提供等を行う市町村、交通事業者、団体に対し支援（補助）を実施

http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/kenmin/traffic_activation/page00028.html

●通勤定期で家族みんながおトクに！『ファミリーエコ割引』（静岡県）

土・日・祝日、年末年始に遠鉄バス全線・遠鉄電車全線で通勤定期券所持者の家族4名まで、通勤定期券区間内に限り一乗車大人100円・小人50円に割引

<http://entetsubus.weblogs.jp/news/2012/04/familyeco.html>

●関東自動車株式会社（関東バス）『環境定期券制度』（栃木県）

土・日・祝日、年末年始、お盆期間に通勤定期券保有者と同乗する家族を対象とした運賃割引制度を導入

<http://www.kantobus.co.jp/topics/index.php?id=137>

●IGRいわて銀河鉄道『中学生往復半額きっぷ』（岩手県）

土・日・祝日、長期休暇期間中の毎日についてIGR全区間の往復運賃が中学生半額（小児運賃と同じ）

<http://www.igr.jp/wp/tickets/jrhs>

●エコファミリー制度（兵庫県神戸市）

土・日・祝日、年末年始、夏休みに市営バス、地下鉄等が大人1人につき同伴の小学生以下2人まで無料

<http://www.city.kobe.lg.jp/information/project/traffic/ecomotion/page02.html>

【イベント、フォーラム、セミナー等の開催案内】

●公共交通に親しむ日

日時:2012年11月3日(土)~4日(日)

場所:岡崎市内一円、乙川河川敷右岸

主催: 岡崎市、岡崎市交通政策会議

<http://urx.nu/2fA7>

●エコ モビリティ ライフ 県民の集い2012

日時:2012年11月20日(火)13時30分~15時30分

場所:愛知芸術文化センター12階 アートスペースA

主催:愛知県・あいちエコモビリティライフ推進協議会

<http://www.pref.aichi.jp/0000054471.html>

【その他】

●自転車免許証の特典を開始(愛媛県松山市)

「松山市自転車免許証」を携帯・提示する3年生以上の小学生を対象に、市有施設において利用料金の割引などの特典を実施

<http://www.city.matsuyama.ehime.jp/hodo/201207/jitenshamenkyosho.html>

4. その他

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）に関連する取り組みや話題、イベントの案内等を事務局までお寄せください！

→E-mail : mailmagazine@mm-education.jp



発行：交通環境学習メールマガジン事務局

（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）

バックナンバー（交通環境学習に関する寄稿）の閲覧はこちらから

<http://www.mm-education.jp/magazine.html>

配信申込はこちらから

http://www.mm-education.jp/mailmagazine_form.html

配信停止をご希望の方は下記アドレスまでご連絡ください

→E-mail : mailmagazine@mm-education.jp

交通環境学習(モビリティマネジメント)教育ポータルサイト：

<http://www.mm-education.jp/>

